

財務省第2入札等監視委員会 令和2年度第3回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和3年3月19日（金）仙台国税局2階共用会議室	
委員	委員長 青木雅明（東北大学会計大学院長） 委員 高木龍一郎（学校法人東北学院 常任理事） 委員 成田由加里（公認会計士）	
審議対象期間	令和2年10月1日（木）～令和2年12月31日（木）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	一件	—
随意契約（公共工事）	一件	—
競争入札（物品役務等）	4件	契約件名：仙台合同庁舎で使用する電気の需給 契約相手方：テブコカスタマーサービス株式会社（法人番号8010401146664） 契約金額：@10.85円/Kwhほか 契約締結日：令和2年11月18日 担当部局：東北財務局
		契約件名：普通財産の境界確定補助業務に係る業務委託（宮城県地域） 契約相手方：公益社団法人宮城県公共嘱託登記土地家屋調査士協会（法人番号8370005000091） 契約金額：2,905,650円 契約締結日：令和2年12月25日 担当部局：東北財務局
		契約件名：税務署庁舎等の駐車場整理等業務 区分9 契約相手方：株式会社ビルワーク・ジャパン（法人番号1370001002131） 契約金額：11,219,120円 契約締結日：令和2年12月22日 担当部局：仙台国税局
		契約件名：飛沫防止パーティションの購入 契約相手方：株式会社東和商会（法人番号3370001003697） 契約金額：6,788,320円 契約締結日：令和2年12月8日 担当部局：仙台国税局
随意契約（物品役務等）	一件	—
応札（応募）業者数1者関連	2件	※普通財産の境界確定補助業務に係る業務委託（宮城県地域）に同じ ※飛沫防止パーティションの購入に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事案1】 契約件名：仙台合同庁舎で使用する電気の需給 契約相手方：テフコカスタマーサービス株式会社 （法人番号8010401146664） 契約金額：@10.85円/Kwhほか 契約締結日：令和2年11月18日 担当部局：東北財務局</p> <p>落札率が低い要因は何か。</p> <p>毎年、発注しているようだが、契約相手方に変更はあるか。</p> <p>【事案2】 契約件名：普通財産の境界確定補助業務に係る業務委託（宮城県地域） 契約相手方：公益社団法人宮城県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 （法人番号8370005000091） 契約金額：2,905,650円 契約締結日：令和2年12月25日 担当部局：東北財務局</p> <p>1者応札となった要因は何か。</p> <p>他の東北5県の委託業務内容及び応札状況はどのようなになっているか。</p>	<p>入札参加者が複数あり、競合によって落札金額が低くなったものと考えている。</p> <p>前年は別の業者と契約を締結している。</p> <p>当初、売払補助業務などを含めた普通財産管理業務全体として入札を実施したものの、参加者がなかったことなどを踏まえて境界確定補助業務に限定して入札を実施したものであるが、複数の業者から「委託予定件数が少なく、収益面の魅力が乏しい。」と聞いており、受注の利点が少ないと解されたことが要因と考えている。</p> <p>普通財産管理業務として入札を実施し、落札されているものの、多くの県で1者応札となっている。 委託対象となる財産自体が増加傾向にないため、委託予定件数を増やすことは困難だが、今後、いずれの県でも1者応札が改善できるよう、発注方法の見直しなどを検討していきたい。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案3】 契約件名：税務署庁舎等の駐車場整理等業務 区分9 契約相手方：株式会社ビルワーク・ジャパン （法人番号1370001002131） 契約金額：11,219,120円 契約締結日：令和2年12月22日 担当部局：仙台国税局</p> <p>労務費に直結する契約に関しては、業務の質の確保という観点から、受託業者から作業従事者への支払金額を確認することを検討してはどうか。</p> <p>入札内訳書では、平日と土日の単価が同一である。一般的に土日の単価の方が高いものと思われるが、どのように分析しているか。</p> <p>昨年度、一昨年度の落札者は。</p> <p>他の区分においても、同様に同一業者が落札している傾向はあるか。</p> <p>【事案4】 契約件名：飛沫防止パーティションの購入 契約相手方：株式会社東和商会 （法人番号3370001003697） 契約金額：6,788,320円 契約締結日：令和2年12月8日 担当部局：仙台国税局</p> <p>入札の前は、どのような体制だったのか。</p> <p>なぜ、一者応札となったのか。</p> <p>【総評】 （事案2） 境界確定補助業務に限定せず、売払いなども含めて発注できるよう、継続的な業務の性質等の検討や調査を希望する。 （事案4） 今回はコロナ禍での調達であり、調達が困難となったとのことであるが、調達物品の仕様の決定に当たっては、取扱可能な業者等について、広く情報を収集してもらいたい。</p>	<p>（意見のみ）</p> <p>労務費の点からすると、土日の単価の方が高いものと想定されるが、役務の対価として業者が土日・平日の隔てなく単価を設定したものと思料している。</p> <p>両年度ともに同一業者である。</p> <p>地域によって、同一業者が落札している区分がある。</p> <p>クリアファイル等を代用して使用するとともに、令和2年5月に最低限のパーティションを配備し、窓口に設置していた。</p> <p>事前のヒアリングでは、3者から対応可能との回答を得ていたが、一者応札となったものである。入札に参加しなかった業者へのヒアリングでは、一部調達が困難になったとの回答であった。</p>